



弥生っ子

学校だより 第2号

令和元年 5月9日

千葉市立弥生小学校

「平成」から「令和」 平和な時代に

校長 升川 光博

新緑の若葉薫る5月、元号も「令和」となり新しい時代のスタートにふさわしい季節に入ります。5月1日より、学校では「令和元年度」という表記になります。保護者、地域の皆様には、本校教育へのご理解とご協力に感謝申し上げます、これまで同様ご支援、ご協力をお願いいたします。

「平成」時代、日本においては戦争がありませんでした。子ども達が成長し活躍する「令和」も同様に、戦争のない「平和」な時代でありたいと思っています。身近な「平和」としては、友達となかよく学び、クラスや学校にいじめがなく、交通事故や事件に巻き込まれることなく、すこやかに成長してほしいと切望します。加えて、世界の国々の文化に触れ、人々との交流から異文化理解を深め、世界で活躍する人財が育ってくれることを期待します。



◆「令和」に活躍する子ども達

子ども達が活躍し生きていく令和時代は、これからどんな世の中になるのか？想像を超えるスピードで様々な分野で技術が進歩し、環境や生活が変わり、今ある職業も大きく様変わりすると報じられています。AI（人工知能）はますます発達し、私が子どもの頃マンガで心躍らせた、アトムのようなロボット、空を飛ぶ車＝自動運転は当たり前になるかも知れません。スマートフォン、タブレット、ドローン等も5年後にはどんな進化を遂げているか楽しみです。

このような中、将来子ども達がどんな大人になり、どんな職業に就いていくのか「キャリア教育」の重要性も叫ばれています。今後新たに「プログラミング教育」が取り入れられ、引き続き「オリパラ教育」も推進されます。私達は、積極的に学び、体験し、自己研鑽しながら子ども達に寄り添っていきたいと思います。

学校だより第1号で、めざす子ども像を「夢を抱くやよっ子、最後まであきらめない、ねばりっ子」と示しました。時代の変化に対応しながらも、一人一人の個性や学びのスピードを尊重し、しなやかで、何事にもチャレンジする子どもを育てていきたいと思っています。

◆今年もAKB 「明るい あいさつ」あふれる学校に

弥生小の子ども達は、明るい笑顔が素敵な子がとても多いです。先日、東門で登校する子ども達を迎えていた時、ある2年生の子が、にっこり笑顔で私の方を見て「校長先生、おはようございます！」とあいさつをし、その後「ペコリ」とお辞儀をしてくれました。最高に気持ちの良い瞬間でした。礼儀正しい所作はその人の人間性の表れです。礼儀正しく、明るいあいさつができる子どもがたくさんいる学校をめざしたいと思いました。今年の合言葉は

- ★A 明るいあいさつ！
- ★K きまりを守る！
- ★B バッチリやる！

です。「AKB150」で弥生小150人みんなが素敵な弥生っ子になってほしいです。

結びに、これからもお子様のよりよい成長のため、保護者の皆様と寄り添い、学校教育を進めてまいりますので、重ねてご支援、ご協力をお願いいたします。